

「成田国際空港の施設整備及び制限表面の変更に関する意見募集」に寄せられたご意見の概要及び見解等

ご意見等	見解・対応等
利用者利便の向上、海外からの観光客の誘致、我が国経済の活性化に大きく貢献するため賛成。	お寄せ頂いたご意見は今後の航空行政の参考とさせていただきます。
ピーク時は席がなかなか取れず、滑走路が延伸されれば、提供座席数、便数が増え便利になるので賛成。	
日本を代表する国際空港として不完全な状態が続いている現状は、地域住民、地元商工会議所からも有益ではなく、賛成。	
大型機、国際線が制限されている現状よりも有効になり賛成。	
世界各国からの新規乗り入れ・増便要求に応えられるようになり、国際的な経済活動・文化交流が一層盛んになる。また、日本の国際競争力を低下させないためにも空港機能強化は必要であり賛成。	
グローバル化に伴い今後も航空需要は増す。日本の空の玄関である成田空港を早く整備し、国際社会に貢献する必要がある、賛成。	
滑走路が延伸されれば、現在の混雑が緩和され、より便利になると思うので賛成。	
滑走路延長により、空港利用客の利便性の向上が期待でき賛成。	
北側に延長するのは残念だが平行滑走路延長整備は国際社会に対する日本の責務。これまで空港建設や運営に協力して移転された多くの方々に対しても申し訳ない。変更には賛成。	
暫定の北伸は、難工事を万難を排しても2010年までに絶対完成してオープンさせなければならない。	空港会社は、申請にあたって本件の供用の予定日を2010年3月31日として申請しており、本件申請の許可後速やかに工事着手を行い、供用目標に向け整備を進めることとしています。
暫定を近い将来4000mにし、かつ24時間運用にすること。	成田国際空港に指示している基本計画において、平行滑走路は2500mとなっており、4000mのA滑走路と相まって成田空港として必要な機能が発揮されると考えています。また、内陸空港である成田空港は航空機騒音が大きな課題であり、深夜の運航は周辺地域へ与える騒音影響が大きく難しいと考えます。
平行滑走路が水平表面からはみ出しており、航空機の安全運航の確保という制限表面の確保という目的からすると矛盾するのではないか。	水平表面は、飛行場の標点の垂直上方45mの点を含む水平面のうち、この点を中心として4kmの長さの半径で描いた円周で囲まれた部分を言い、航空法に従って設定しています。この水平表面とは、空港周辺での旋回飛行等低空飛行を確保するために必要な表面として設定され、主に小型機の旋回飛行を対象としています。成田空港においては、水平表面の縁から1/50の勾配で円錐表面を指定するため、航空機の安全運航に必要な空域は確保されていると考えます。

「成田国際空港の施設整備及び制限表面の変更に関する意見募集」に寄せられたご意見の概要及び見解等

ご意見等	見解・対応等
<p>標点をなぜ移動させるのか、滑走路が水平表面からはみ出しても支障はないか、標点を追加(着陸帯のBの中心)するのが良いと考える。私権の制限がどのように変化するかについて具体的に説明すべき。</p>	<p>飛行場の標点は、飛行場の中心に設定していることから、滑走路延伸にあわせて移設することとしました。水平表面は、飛行場の標点の垂直上方45mの点を含む水平面のうち、この点を中心として4kmの長さの半径で描いた円周で囲まれた部分を言い、航空法に従って設定しています。この水平表面とは、空港周辺での旋回飛行等低空飛行を確保するために必要な表面として設定され、主に小型機の旋回飛行を対象としています。成田空港においては、水平表面の縁から1/50の勾配で円錐表面を指定するため、航空機の安全運航に必要な空域は確保されていると考えます。また、今回の滑走路延伸に伴い、進入表面、転移表面、水平表面、延長進入表面、円錐表面、外側水平表面が変更となりますが、変更後の制限につきましては添付していました図面のとおりとなります。なお、個別の各地点における制限状況について網羅的に表現するのは困難なため図面での表示形式を採用しております。</p>
<p>農業を続ける生産者がいる東峰部落で、今回の北側延長工事によりさらに大型機が飛べるようになり騒音被害がますます大きくなり農業を続けることは困難で、農民が犠牲になろうとしている。騒音など今以上に苦しい状況に現地の農民をおいやり出て行かざるを得ない状況としたあとで、軍事利用する上で必要な4000mの滑走路完成を狙っている。北側延長工事を認可しない事。</p>	<p>東峰地区への影響につきましては、成田国際空港株式会社は、これまで、東峰区の方々からの要望を聞きながら、遮音壁の設置、仮設休憩所及び仮設住居の設置、健康診断の実施等の措置を講じており、今後も、東峰区の方々からのご要望に真摯に対応することとしています。</p> <p>また、同社は、同社が所有する騒音用地(農地)を地域農家へ貸し付け、活用するなど、これまでも空港周辺地域の農業の再生への協力を積極的に行っており、有機農業についても、地域農家の方々に技術指導をお願いし、有機農業研修を実施したり、農業の多様性と奥行きを体験できる自然公園であるグリーンポート エコ・アグリパークの整備を行ったりしているところです。</p> <p>なお、成田空港で、いわゆる軍事利用を想定した施設計画はありません。</p>
<p>本プロジェクトは財政的に成り立つものでなければ、実行されるべきではない。国土交通省が延伸を決定し、南延に必要な用地の収用ができなかったことを踏まえると、本プロジェクトの費用は空港利用者ではなく、政府により負担されるべき。</p>	<p>平行滑走路の2500m化は、就航可能路線の拡大、使用可能機材の大型化を可能とするものであり、利用者、成田空港への新規乗り入れや増便を希望している航空会社にとって、非常に便益が高いプロジェクトであると考えています。</p> <p>なお、財政的に成り立つか成り立たないかという点については、その定義、判断基準が必ずしも明らかではありませんが、成田空港の整備を行う主体である成田国際空港株式会社は、その投資については、投資効率を十分に検討した上で行っているとしています。</p> <p>また、一般的にも、成田空港の場合は、旺盛な国際航空需要を持つ首都圏を背後に抱えると共に、既に旅客ターミナルのようなインフラが十分整備されているため、本プロジェクトのように空港容量を拡大できる投資は、基本的に投資効率が悪い事業ではないと考えられると、成田空港の整備は、空港の管理主体である成田国際空港株式会社が自らの判断と責任において行う、というのが成田空港の民営化の前提であり、基本的に政府がその費用負担をすることは考えておりません。</p>